

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部 文化学科
学年(出発時)	2年
大学名	ルンド大学
国	スウェーデン
留学期間	2014年 8 月 19 日 ~ 2015 年 6 月 23 日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	学校で課題や勉強
15:00	
16:00	授業
17:00	授業
18:00	自宅で勉強
19:00	
20:00	夕食
21:00	友人と過ごす
22:00	
23:00	
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Swedish: Introductory Course for Exchange Students 1	8h	3	英語、スウェーデン語	座学 / 筆記試験
Modern Design in Scandinavia	3h	7.5	英語	座学、study visit / レポート
Swedish History from a Nordic Perspective	2h	7.5	英語	座学、グループワーク / レポート、発表
Gastronomy: Sustainable Eating	2h	7.5	英語	座学、グループワーク / レポート、発表
History of the Holocaust	4h	7.5	英語	座学 / レポート
Globalization in the Pre-Modern World	3h	7.5	英語	座学、study visit / レポート
The Religious Impact of Migration in Sweden	4h	7.5	英語	座学、study visit / レポート
Barbarians and Romans	4h	7.5	英語	座学、study visit / レポート
A Survey of Swedish Music History	3h	7.5	英語	座学 / 筆記試験

大学のサポート	
チューターの有無	無
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	有(スウェーデン語)
コース名、料金、期間等	Swedish level 1～ / 1セメスターにつき1つの授業

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	Spoletorp South
部屋タイプ	キッチンとリビングが共同 その他は個人専用
ルームメイト(国籍)	コリドーメイト: スコットランド、シンガポール、韓国、ドイツ、ハンガリー 他
室内設備	シンク 冷蔵庫 デスク バスルーム 棚がいくつか
共用施設	キッチン リビング テレビ
インターネット設備	有(個人でルーターなどを持参する必要あり)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩 15分程度
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	student visa
Visa申請先	Migrationsverket
Visa取得にかかった日数	3-4 カ月
Visa取得にかかった費用	大学の最寄駅から移民局までの渡航費
Visa取得方法、提出書類等	web上で申請 提出書類:パスポートのコピー、奨学金の証明書、ある程度の金額が入っている銀行口座の残高証明、保険の証明書
留学先大学の最寄り空港までの経路	名古屋セントレア国際空港 - シンガポールチャンギ空港 - コペンハーゲンカストラップ空港
渡航費用	165290円
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	2016年3月～
帰国後の進路	一般企業に就職希望

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	11000SEK = 165600JPY
学費(教科書代や語学コース授業料等)	1000SEK = 15000JPY
宿舍費(月額)	4100SEK = 64500JPY
光熱費(月額)	宿舍費に含まれている
食費(月額)	2000SEK = 30000JPY
その他	6500SEK = 100000JPY
留学期間中にかかった費用の合計	81900SEK = 1230000JPY

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

約1年間にわたった今回の留学は私にとって非常に忘れがたく貴重な経験になったと思います。以下、勉強面とその他に分けて具体的に私がどのような経験をしたのかを書いていこうと思います。まずは勉強面についてです。留学前私は比較的自分の英語力に自信があり、向こうの大学に行けばそれなりにやっていけるだろう、勝手に英語力もそれなりに伸びるだろうと思っていました。ですが実際に行ってみるとそれは大違いでした。ほかの国からの留学生や現地のスウェーデン人の学生は皆、英語を流暢に話していて自分のものとは比べられないほどでした。はじめはその現実にくじけそうになりましたがそれでも積極的に英語を話す環境に自分を置いていくうちに本当に仲の良い友人ができ、彼らともっと深く付き合いたい、自分が本当に言いたいことをもっとしっかりと言いたいと感じ、大学の授業を受けるだけではなく個人的に英語を基礎から勉強し直しました。大学の授業はあくまで英語で何かについて学ぶのであって、英語を学ぶ場ではなかったからです。具体的にどんな勉強をしたかという、英語の文法を英語で書かれた教材で学び直しました。日本語は一切使われていません。また洋画や英語のドラマを英語字幕で見る、英語で書かれた小説を読むなどです。しかし一番大切なことは人と話すことです。これらの勉強法は、非ネイティブスピーカーでありながら大変流暢な英語を話すスウェーデン人の友人が教えてくれました。これらの勉強の甲斐もあり、留学前に比べて英語力は飛躍的に伸びたと思っています。また、大学の授業では歴史の授業を複数とり、日本の大学ではおそらく学べないであろうスカンジナビアに焦点を当てた歴史を学びました。またスウェーデン国内やデンマークにある博物館に赴き課外活動をすることもありました。これらの授業で得たものは大変貴重だと思います。

次にその他の面についての経験を書こうと思います。ルンド大学には本当に多くの国からの留学生、そしてスウェーデン人が在籍しており日本にいたら決して出会えなかった人々に多く会うことができました。彼らと深く付き合ったことで彼らの国について、価値観、文化を肌で感じることができました。日本では当たり前だと思っていたことがある国の人々にとっては全くそうではなかったり、その逆もしかりでした。彼らの国の魅力を沢山感じる事ができたと思っています。特にスウェーデンに関しては本当に多く感じたと思います。留学前は、スウェーデンといえばIKEAを生んだ国、福祉で有名な国という程度のイメージしかなくスウェーデンに関する事はほとんど知らなかったのですが、今ではスウェーデンの魅力や良くない点、そこに住む人々の価値観や文化を語る事ができるまでになりました。私の第二の故郷だと思っています。私が彼らの魅力を存分に感じたのと同じように、彼らも私を通して日本の魅力を感じてくれたらと思います。実際、「絶対に日本に会いに行くからね」と言ってくれた友人もいます。きっと彼らは日本の魅力を感じてくれたと思っています。彼らは私にとってかけがえのない友達になりました。住んでいる国は違っても、話す言葉は違っても、お互いを深く理解することはできると実感しました。

今回の留学を通して新しい環境にも積極的に対応しようという度胸が付き、またそのために努力することがいかに大切なのかを学びました。これから日本も今までよりも多く外国と関わっていなければいけない時代が来ると思います。そんなときに私が実際に日本の外で見て、聞いて、感じてきたことを生かせたらと思います。

今後留学する人へのアドバイス

スウェーデンへの留学は本当に良い経験ができると思います。英語を学びたいから、という理由でアメリカなどの英語圏に行くことももちろん素晴らしいと思いますが、英語を学びたいならばスウェーデンに行っても自分次第で学べます。わたしは英語圏への長期留学の経験はないのであくまで私の意見、感想になってしまいますが、スウェーデンはそれらの国とは違って陸続きでほかのヨーロッパの国と繋がっています。そして彼らの独自の言語も持っています。これはアメリカやオーストラリア、イギリスなどとは大きく異なる点です。彼らはヨーロッパの国々、スカンジナビアの国々の中のひとつの国として、まわりの国と共通する点や似通った点もありつつ彼ら独自のものも持っています。これは現地に行き、現地の人、文化そして社会に接してみないとわからないと思います。スウェーデンはヨーロッパの国なので他のヨーロッパの国々にも簡単に行くことができ、実際に自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じて違いを感じられると思います。私はスウェーデンに1年間滞在してみて、それらを沢山感じることができました。これらは本当に面白く興味深かったです。貴重な経験だったと思います。スウェーデンへの留学は言語以外にも本当に沢山のことを学ぶことができます。スウェーデン人だけでなく、英語圏やアジアを含め様々な国からの留学生が数多くいるので、上で述べたことの他にもより多くのことを学べると思います。言語だけでなくもっと様々なことを学びたい、知りたい、体験したいという人には本当に素晴らしい留学先だと思います。

報告書記入日

2015年6月25日